

第一セッション

戦間期東欧のコミュニティとネットワーク形成の試み

第二セッション

社会主義体制における人々の暮らし—宗教、文化、言語

第三セッション

何が和解を妨げているのか—ユーゴスラヴィアの「戦争」と「民族」

講演(最終講義に代えて)

バルカン地域研究を続けて—俯瞰と比較の視点

柴宜弘(東京大学)

特別講演(英語・通訳なし)

Women's Writing in South-East European Literatures

ヤスミナ・ルキッチ(中央ヨーロッパ大学)

2009年度地域研究コンソーシアム「地域研究次世代ワークショップ」

Workshop on East-European Area Studies

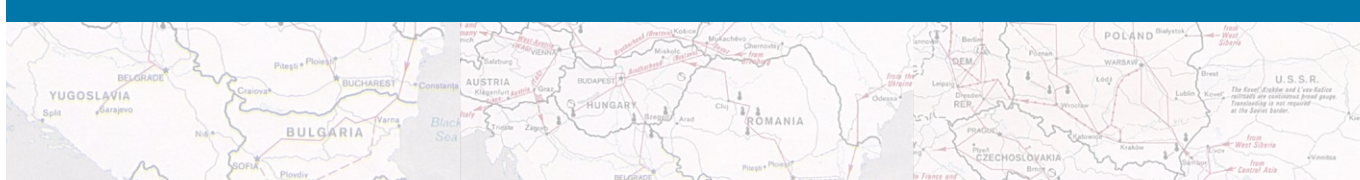


東欧地域 研究の現在、 そして 未来への展望

国境・学問領域を超えた総合的アプローチ
2010年1月9日[土]10:00-18:00
東京大学駒場キャンパス18号館ホール

主催=地域研究コンソーシアム

共催=東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻
大阪大学世界言語研究センター「地政学的研究」プロジェクト
大阪大学大学院人間科学研究科 GCOE プログラム



東欧地域研究の現在、そして未来への展望

学術研究の分野において、「東欧」をなんらかの意味を持つ地域としてとらえる見方について、異議が唱えられて久しい。近年では、「東欧」という概念との関係について自覚的に、あるいは無自覚的に、「中欧」、「中東欧」、「バルカン」、「南東欧」という概念も広く用いられている。さらに、「東欧」という概念が個々の研究者の視座・視野によって、可変的なものであり、固定的な東欧理解には限界があることが意識されるようになってきた。本企画は、こうした認識の上に立って、人々がいかに暮らし、何を考えてきたのか、また、何によって「結ばれ」、何によって「隔てられ」てきたのかを考察することによって、この地域の多様かつ重層的な姿に光をあてる試みである。

【プログラム】

10:00-12:00 趣旨説明 木村真(日本女子大学) 総合司会=奥彩子(大阪大学)

第一セッション 戦間期東欧のコミュニティとネットワーク形成の試み

司会=木村真(日本女子大学) コメンテーター=中島崇文(学習院女子大学)

報告 「郊外」に見る戦間期の住民世界：チェコ・プラハを事例に 森下嘉之(東京大学・院)
 戦間期スロヴァキアにおける「中心都市／首都」論：1920年代後半の議論から 香坂直樹(跡見学園女子大学)
 1920年代前半のハンガリー系亡命者ネットワーク：ウィーン・ペーチ・ベオグラードを軸に 辻河典子(東京大学・院)
 「ユーゴスラヴィア知識人」の可能性 山崎信一(東京大学)
 国民国家とマイノリティ：戦間期サロニカのユダヤ人 村田・澤柳・奈々子(近現代ギリシア史研究者)

13:00-13:30

特別講演(英語・通訳なし)

Women's Writing in South-East European Literatures

ヤスミナ・ルキッチ(中央ヨーロッパ大学)

ヤスミナ・ルキッチ Jasmina Lukić

中央ヨーロッパ大学ジェンダー学研究科准教授。女性文学、文学理論、フェミニズム理論、カルチュラル・スタディーズを専攻。著書に『メタフィクション』、共著に *Engendering Slavic Literatures* など。

13:45-15:15

第二セッション 社会主義体制における人々の暮らし—宗教、文化、言語

司会=石田信一(跡見学園女子大学) コメンテーター=吉岡潤(津田塾大学)

報告 宗教と無神論の間：ユーゴスラヴィア社会における宗教 長島大輔(ユーゴスラヴィア地域研究者)
 文化事業としてのハンガリー動物園 倉金佳(外務省専門調査員)
 フィクションと政治の間で：イスマイル・カダレの小説創作とアルバニアの社会主義体制 小林久子(東京大学・院)
 社会主義体制とスラブ・マイクロ文語：オンドラ・ウィソホルスキと「ラフ語」の諸問題 野町素己(北海道大学)

15:30-17:00

第三セッション 何が和解を妨げているのか—ユーゴスラヴィアの「戦争」と「民族」

司会=古谷大輔(大阪大学) コメンテーター=河村弘祐(東京大学)

報告 旧ユーゴスラヴィアの紛争と「民族」、その内部：「われわれ」と「かれら」の再構成 鈴木健太(東京大学・院)
 「アルバニア人」の他者化と「コソヴォ問題」の源泉 百瀬亮司(大阪大学)
 コソヴォ共和国憲法における多民族性と排除の論理 茂野玲(元 UNMIK 職員)
 ICTY の遺産：ICTY は旧ユーゴの和解と安定に何をもたらしたか 長有紀枝(立教大学)

17:15-18:00

講演(最終講義に代えて)

バルカン地域研究を続けて—俯瞰と比較の視点

柴宜弘(東京大学)

柴宜弘

1946年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科教授。東欧地域研究、バルカン近現代史を専攻。著書に『ユーゴスラヴィア現代史』『バルカン史』『図説バルカンの歴史』『バルカン史と歴史教育』など。

お問い合わせ先

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻事務室

Tel: 03-5454-6321 E-Mail: area@ask.c.u-tokyo.ac.jp <http://ask.c.u-tokyo.ac.jp/>